ミュージアムニュース

広島県立歴史博物館
Hiroshima Prefectural Museum of History
草戸千軒ミュージアム

第144号

Hiroshima Prefectural Museum of History

山陽新幹線全線開通 50 周年記念　夏の企画展

ひろしま鉄道メモリー

― 線路は続くよ いつまでも ―

会期　令和7年 7月11日(金)～ 8月31日(日)

山陽新幹線開通日の三原駅の様子（AIによりカラー化、撮影：細川 延夫）

令和7年度夏の企画展「ひろしま鉄道メモリー」では、広島県の鉄道の歩みをたどります。今年は、山陽新幹線全線開通から50年の節目の年に当たります。

本展示会では、新幹線0系「ひかり」の部品や記念品類等をはじめ、県内の鉄道を描いた鳥瞰図や県内の高校生が製作した鉄道模型などを展示します。

新幹線開通当時の情景や、時代とともに変遷してきた鉄道の姿を「追憶」しながら、懐かしい鉄道の「思い出」を振り返ります。

展示の紹介は次のページへ ▶▶

▲尾道鉄道案内〔大正15年(1926)、個人蔵〕

▲尾道鉄道尾三自動車沿線御案内
〔昭和９年(1934)、個人蔵〕

背景(上):尾道鉄道　畑駅～諸原駅
背景(下):鞆鉄道　芦田川橋脚
(AIによりカラー化、撮影:細川 延夫)

日東第一鞆の津御案内 ▶
〔大正～昭和、個人蔵〕

◀ 鞆鉄道沿線案内
〔昭和５年(1930)、
当館蔵・守屋壽コレクション〕

尾道鉄道は、大正14年(1925)11月1日に西尾道―石畦(いしぐろ)間で開業し、昭和8年(1933)3月28日に尾道―市(いち)間までの全線(17.1km)が開通しました。瀬戸内沿岸部と内陸部を結ぶ交通機関として利用されていましたが、同社によるバス路線網の拡充や国道の整備などにより、次第に利用者数が減っていきました。そのため、昭和39年(1964)8月1日に全線廃止されました。

尾道―西尾道―地方事務所裏―青山病院前―宮ノ前―栗原―尾道高校下―
―三美園―三成―木梨口―遊亀橋―木頃本郷―石畦―西高上―畑―諸原―市

鞆鉄道は、大正2年(1913)11月17日に軽便鉄道として鞆―野上間に開業しました。その後、大正15年12月に軽便鉄道から鉄道路線へ変更となり、昭和6年(1931)9月10日には山陽本線福山駅と接続されました。福山と鞆を結ぶ主要な交通手段として市民に親しまれてきましたが、戦後、乗合自動車の運行開始などにより、次第に利用者数が減少し、昭和29年(1954)3月1日に全線廃止されました。

福山―三之丸―野上―草戸稲荷―半坂―妙見―
―水呑薬師―水呑―葛城―田尻村―金崎―鞆

廃止後も、同社はバス会社として経営を続けており、かつての線路跡をトモテツバスが運行しています。

山陽新幹線全線開通 50 周年記念　夏の企画展

ひろしま鉄道メモリー
― 線路は続くよ いつまでも ―

会期　令和7年 7月11日(金)～8月31日(日)

■ 開館時間／ 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)※ただし、7月11日の入館は、午前10時から
■ 休　館　日／ 月曜日(ただし、7月21日及び8月11日は開館。)、7月22日(火)
■ 入　館　料／ 一般 1,000円(800円)、大学生・高校生 500円(400円)、中学生・小学生 350円(280円)
※(　)は団体料金(20名以上)

■ 関連行事

(1) 開催記念講演会　　いずれも午後2時～午後3時30分

開催日	演題	講師
① 7月26日(土)	てっちゃん野川の鉄道愛を語る ―広島の鉄道と山陽新幹線―	野川 諭生氏(テレビ新広島　アナウンサー)
② 8月23日(土)	山陽鉄道の延伸と「広島」	井田 泰人氏(近畿大学短期大学部　教授)

(2) 展示解説会
7月20日(日)・8月10日(日)　いずれも午後1時30分～午後2時30分

鉄道模型運行会(HOゲージ)
7月29日(火)
～8月3日(日)
協力
鉄道模型グループ　九官鳥

鉄道模型運転会(HOゲージ)
土曜日・日曜日・祝日
(ただし、7月27日、8月2日、3日を除く。)
協力
朗堂　他

懐かしい鉄音大集合!!
8月10日(日)
8月11日(月・祝)
協力
向洋イベント音鉄サークル

はくぶつかん こぼれ話 31

～草戸千軒から発見されたバラのトゲ～

当館が所在する福山市では、令和7年5月に世界バラ会議福山大会が開催されました。

福山市は、昭和20年8月8日に空襲を受け、市街地の約8割が焼失しましたが、その後復興が進む中で、市民の手で市内各所にバラを植えるなど、バラを通じた様々なまちづくりが行われてきました。バラは、昭和60年には市の花に制定され、福山市のシンボルとして、現在も多くの市民に親しまれています。

さて、この福山市に所在する中世の港町、草戸千軒町遺跡からもバラが出土していることを皆さん御存じでしょうか。正確には「バラのトゲ」ですが、ここでは草戸千軒町遺跡出土のバラについて紹介します。

今からおよそ750～500年前に、どのような植物があったかは、古文書や絵画などの記録で知ることができます。一方、遺跡から実物が出土することは稀ですが、土の中に多くの水分を含む遺跡では、当時の植物が腐らず現代まで残ることがあります。これは、水分を多く含む粒子の細かな土（泥）の中では酸素が遮断され、植物を腐らせる菌の繁殖が抑えられるためです。また、一部腐食が進んだものでも、水分が植物の間隙に入り込むことで植物の形状を保持することがあり、こうした点も現代まで植物が形を崩さずに残る理由として考えられています。

芦田川の中州で確認された草戸千軒町遺跡は土中に水分を多く含む遺跡で、鎌倉・室町時代の植物（木や草、種など）が井戸や池、溝などから多く出土しています。おそらくいろいろなところに生えていたり外から持ち込まれたりしたものが、井戸や池などに落ちて残ったのでしょう。

発掘調査の際には、遺跡で見つかった植物は可能な限り採集し、また遺構によっては土ごと持ち帰って、顕微鏡などで微細な種などの確認を行っています。こうした作業の結果、バラなどのトゲも十数点ほど見つかっています。

出土したトゲは、長さが0.3～1㎝で、先端は鋭く尖っています。残念ながら、花や幹の部分は残っていませんでした。これらは、専門家らによって、イバラとノバラと同定されています。イバラ（茨）はトゲのある植物の総称で、おそらくバラ科以外の植物も含まれていると考えられます。一方、ノバラは、ノイバラ（野茨）のことで、山野の河岸などに生育しており、5～6月には白い花を咲かせます。現在は北海道から九州まで広く自生しています。

写真：バラのトゲ
（草戸千軒町遺跡出土）

草戸千軒町遺跡から見つかった鎌倉・室町時代の植物の中には、ウメやモモ、クルミ、コメ、ムギなどの食用のものや、タケやスギ、ヒノキなどの道具の素材となったものなど、いわゆる「有用植物」と呼ばれるものが多く出土していますが、それ以外にも現在は「雑草」と呼ばれる草木類も確認されています。例えば、湿地に生育するもの（サナエタデ・ジュズダマなど）や、池沼に生育するもの（ヒシ・マツモなど）、人里近くの開けた土地に生育するもの（ギシギシ類など）が見られますが、ノイバラもまたこうした環境の中で生育していた植物です。

鎌倉・室町時代に草戸千軒に住んでいた人々がノイバラとどのように関わっていたのかは不明です。現在は、バラは観賞用として栽培されることが多く、花は食用や香料の材料として利用されることがありますが、当時人々がノイバラをどのように利用していたのかは、手掛かりがなく想像するしかありません。

もしかしたら、現代の私たちと同様に、小さく可憐な花に心癒されたり、花が咲き乱れた風景を見て初夏の訪れを感じたりしていたのかもしれないですね。

ノイバラ
（C）広島大学デジタルミュージアム
広島大学デジタルミュージアムより引用
（撮影者　竹内 史）

福山駅 北口スクエア（当館撮影）

博物館アラカルト32

広島県と鯛の歴史

鯛（マダイ）は日本、そして瀬戸内海を代表する海の幸です。食べれば美味しく、見た目も華やかで、お食い初めなど、祝い事の席にも欠かせない魚とされてきました。広島県でもよく獲れる魚です。今回は、鯛をめぐる広島県の歴史の一部をご紹介します。

●遺跡でみつかる鯛

鯛は、はるか昔の縄文時代には既に生息し、当時から食べられていたことが分かっています。広島県でも比治山貝塚（広島市南区）や地御前南遺跡（廿日市市）などの縄文遺跡から、マダイの骨や歯が見つかっています。

当館が調査・研究を行っている中世の港町、草戸千軒町遺跡（福山市）でも、多くの魚骨が発見されています。動物考古学者の松井章さんによると、同遺跡の第36次調査で発見された魚骨534点のうち、なんと386点がマダイだったそうです。町の人々から非常に好まれたことが分かりますね。

頭の骨には、刃物で「兜割り」にし、さらにぶつ切りにして解体した痕跡が見受けられるそうで、今とそう変わらない方法で捌かれ、調理されていたようです。

マダイ（個人提供）

●海面に浮かび上がる鯛

三原市幸崎能地沖の海域では、「浮鯛」という珍しい現象が近年まで見られたことが知られています。海を泳ぐマダイが、急な水圧変化や、低水温による硬直など何らかの理由で、海面に浮かび上がってくるものです。

この浮鯛については、奈良時代初めに完成した史書『日本書紀』にも記されています。要約すると「神功皇后が船上で食事をとっていると、周りに鯛が集まってきた。皇后が海に酒を注いだところ、鯛が酔って浮かび上がった。海人たちが喜んでその鯛を獲った。」という内容です。鯛が酔っ払ったとする部分は脚色と考えられますが、少なくとも奈良時代には浮鯛現象が知られていたことが分かる興味深い話です。舞台となった渟田門は、浮鯛現象が見られた同海域周辺と考えられています。

マダイのお刺身

本県には、「鯛めし」「鯛そうめん」「うずみ」といった数々の郷土食や、鞆の「鯛網漁」など、鯛をめぐる文化がまだまだ沢山あります。私自身、鯛をおいしくいただけることに感謝しつつ、鯛をめぐる豊かな歴史についても学びを深めてみたいと思います。

草戸千軒町遺跡で見つかった
マダイの骨

頼山陽史跡資料館　展示の御案内

頼山陽史跡資料館では、今年度も様々な展示会を企画しています。ここでは現在開催中の展示会を御案内します。

特集展 山陽流の書(後期)～小字書の魅力～

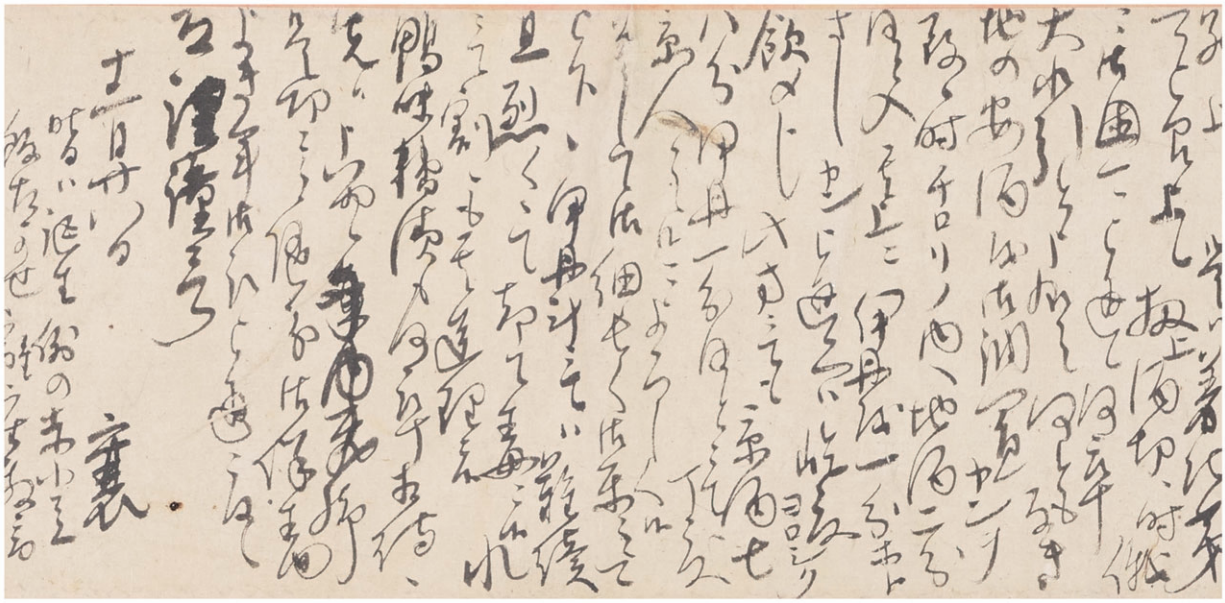
令和7年 5月31日(土)～7月13日(日)

江戸時代後期の典型的唐様の書家とされる頼山陽の書風は、青年期(10代・20代)、壮年期(30代)、中年期(40代)、晩年(50代)と変化を繰り返します。山陽の没後、その遺墨を謄写して版木を作って出版された法帖(お手本)が数多く出版されました。

法帖として出版されたのは中年期以降の作が大半であり、中国宋代の書人米芾の影響が色濃い中年期以降の書風を山陽流と定義してもよいでしょう。

山陽の遺墨は後年、好事家垂涎の的となりましたが、なかでも珍重されたのが手紙です。文章の妙と相まった率意の書は山陽ならではの魅力を放っており、まさに“肉声”。山陽の人となりがよく伝わってきます。

本展は前期と後期に分けて開催しますが、この後期では、小字で書かれた手紙・詩文草稿・巻子装の記文を取り上げ、リズミカルで抑揚に富んだ小字書の魅力を紹介します。



頼山陽書簡(母梅颸宛)個人蔵(頼山陽史跡資料館寄託)

山陽が母梅颸に宛てた手紙。頼山陽の手紙は大半が食べ物や酒に関することといわれていますが、この手紙でも酒のことを話題にしており、地酒に伊丹酒を2対1の割合でブレンドすると美味しく飲めると、裏ワザを伝授しています。

■会　　場 ／ 頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5-15) TEL:082-298-5051
■時　　間 ／ 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休 館 日 ／ 月曜日(祝休日は開館し、翌平日休館)
■入 館 料 ／ 一般200円(160円)、大学生150円(120円)、
65歳以上・高校生以下無料　※(　)は団体料金(20名以上)
■解 説 会 ／ 6月7日(土)　6月21日(土)　7月5日(土)
いずれも午後1時30分～(通常の入館料が必要です)

▲頼山陽史跡資料館ホームページ

RAI SANYOU

博　物　館　掲　示　板

夏休みのこどもを対象としたイベントです。みんなで、応募しよう!

1 夏休みだよ! こども博物館教室

要申込（対象:小学生・中学生）
※小学生は保護者（18歳以上）の同伴が必要です

教室名	実施日時	内容	定員	材料費
藍染をしよう	8月2日（土） ①10:00～11:30 ②13:00～14:30	備後地方を代表する伝統産業「藍染」で、オリジナルのハンカチを作ろう！	20名 （各回10名）	320円
い草を織ろう	8月9日（土） 10:00～15:00	ミニ織機で オリジナルランチョンマットを作ろう！	14名	無料
ミニ畳を作ろう	8月16日（土） 10:00～12:00	日本の伝統的な住居に欠かせない「畳」の作り方をかわいいミニサイズで体験してみよう!	20名	500円

2 草戸千軒お化け屋敷

要申込（対象:小学生）
※保護者（18歳以上）の同伴が必要です

実施日時	内容	定員	参加費
8月2日(土)、9日(土)、16日(土)、23日(土) 二部制 ①18:00～19:00 ②19:00～20:00	室町時代の港町である「草戸千軒」を実物大で再現した町並みを会場としたお化け屋敷で、650年くらい前の夜を体験してみよう!	各日15組 （一組４名以内）	無料

いずれも、「広島県電子申請システム」でお申込みいただき、申込多数の場合は抽選を行います。
申込開始時期は6月中旬、申込締切は7月上旬を予定しています。
申込内容の詳細や、申込開始日・締切日、参加決定のお知らせなど、詳しくは、当館ホームページをご覧ください。

広島県立歴史博物館友の会からのお知らせ!

あなたも、友の会の会員になりませんか?

友の会では、令和７年度の会員を募集中です。
友の会の会員には、博物館が主催する展覧会を無料で観覧できるなどの特典があります。

歴史や文化に興味をお持ちの方は、ぜひ友の会にお入りください!

友の会の活動については、QRコードからご確認ください。

年会費は次のとおりです。

一般会員 2,000円
学生会員 1,000円
家族会員 3,000円（同居家族5名まで登録できます。）
賛助会員 7,000円（会員証4枚と企画展の図録を送付します。）

◇令和７年度の博物館の組織と職員です。（４月１日現在）よろしくお願いします。

館長　宮野　学　　歴史博物館アドバイザー　白井　比佐雄

総務課		学芸課		草戸千軒町遺跡研究所		（分館）頼山陽史跡資料館	
課長	◎谷村　健二	課長	石橋健太郎	（兼）所長	石橋健太郎	（兼）館長	坂光　秀和
主査	◎宮野　浩司	主任学芸員	渡部　史之	主任学芸員	◎村田　晋	（兼）主査	佐伯　匡芳
主任	橋高　真理	学芸員(エルダー)	◎木村　信幸	学芸員	◎佐伯　昌俊	（兼）主査	井上　円
文化施設事務従事員	瀬戸　美幸	学芸員(エルダー)	◎西村　直城	学芸員	冨田　啓貴	主任学芸員	花本　哲志
ワークサポート職員	槙原　葵	文化施設事務従事員	細谷　紗桜	学芸員	杉山　歩夢	学芸員	◎伊藤　大輔
				学芸員(エルダー)	大上　裕士	（兼）主任	◎中塩　将隆
				学芸員(エルダー)	◎尾崎　光伸	（兼）主任	◎川邊　あさひ
				文化施設事務従事員	吾田　朱里	（兼）主任	◎遠藤恵里香
						主任(エルダー)	井上　栄三
						主任(エルダー)	篠永美千代
						（兼）主事	矢野　琢真
						（兼）主事	◎松山　知樹
						文化施設事務従事員	井上麻由子

◎は新任。この他、広島県立歴史民俗資料館学芸員が、当館学芸員を兼務しています。

広島県立歴史博物館 ミュージアムニュース　第144号

編集・発行　令和７年５月31日

広島県立歴史博物館
Hiroshima Prefectural Museum of History
ふくやま 草戸千軒ミュージアム

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目４-１
TEL 084-931-2513　FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/
X(エックス) https://twitter.com/hiroshima_prhk

▲ホームページ　▲X(エックス)